

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

| | | | |
|-------------|---|-----|-------|
| 学 校 名 | 中津川市立田瀬小学校 | | |
| 実 施 期 間 | 平成25年11月13日(水) | | |
| 実 施 概 要 | 地域・祖父母参観「田瀬っ子まつり」 ※生活科・総合的な学習の時間の取り組み発表 ○生活科・・・地域の皆さん・祖父母を笑顔にするお店屋さん ○総合的な学習の時間 3年 ふるさとの自然(「青川」と呼ばれる付知川) 4年 ふるさとの史跡 5年 ふるさとの農業 | | |
| 実 施 内 容 | 学習・取組の分野 ■自然 ■歴史 ■文化 ■産業 □その他 | | |
| | 公開の方法 □授業公開 ■成果発表 ■交流活動 □講演会等 □地域行事等参加 □その他 | | |
| 来 校 者 数 | 保 護 者 | 44人 | 計 91人 |
| | 地域関係者 | 47人 | |
| 実 施 状 況 | 生活科・総合的な学習の時間での取り組みのプレゼンテーションの場と位置づけた「田瀬っこ祭り」。1・2年生は、お客さんの立場に立った楽しいお店づくりに取り組んできた。3～5年生は「田瀬の自然」、「田瀬の史跡」、「田瀬の農業」をテーマにして、地域の高齢者を中心とした物知り名人、農家の方々を外部講師として継続的に関わりをもちながら学習を進めてきた。6年生は、「福祉～わたしたちにできること～」をテーマに、手話、盲導犬など個人テーマを設定し、それぞれが取材活動を行ってきた。また、地域の宅老所「かざぐるま」を継続的に訪問して地域の高齢者との関わりを大切にしてきた。田瀬の農家などからの聞き取り、地域の方々を物知り博士として講師にした田瀬の史跡探検、付知川の水質検査やカワゲラウオッチングなど、地域での学び・地域の方々との関わりを大切にしてきた。当日は、いろいろな発表をみていただけるように、3回発表する機会を作り、会場を自由に移動していただけるようにした。招待した祖父母や地域の高齢者が気持ちよく過ごしていただく「おもてなし」の工夫をするとともに、相手に分かりやすく伝えるように発表をした。 | | |
| 成 果 及 び 課 題 | <参加した高齢者から届いた手紙>・・・ 「☆「最初に体育館の前でのお出迎えに続き、それぞれの案内係の子に話しかけられ、気持ちよく入館。44人の児童全員がひとつになって何事にも取り組み、お客様を迎える気持ちにとっても感動しました。いろいろな立場になって考える、一人一人が一生懸命やっている姿に思わず、こみ上げるときがありました。ありがとうございました。」「4年生の田瀬の歴史の発表を見ました。田瀬に嫁いで40年以上いる私でさえ知らないことばかりで、よく調べてわかりやすく発表していました。聞いていても、見ても大変よかったです。」 子ども達は、取り組みを通してふるさとの魅力を発見し、今まで以上にふるさとに関心をもつようになった。常に聞き手の立場に立って、自分たちの考えをしっかりとわかりやすく「伝えきること」を通して、力をつけていった。地域とのつながりを大切にしたい取り組みであるが、毎年テーマが似ているので、子どもの興味関心に合わせて、テーマを絞ったり、あらたな分野に取り組んだりしていく必要がある。また、今後、子ども達のプレゼンテーションのための原稿作りをもっと丁寧に時間をかけると、今年の発表にさらに磨きがかかり、自分の言葉として、表現の仕方がより高まっていくと感じる。 | | |